

秋田赤十字乳児院

広報誌 第49号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん





< 平成 30 年度 スローガン >

温和丁寧

～思いやいを大切にしよう！～



院長 保坂 美貴子

平成 29 年度は 20 名の子どもが入所し 22 名が退所となった。そのうち 14 名が家庭復帰することができ、退所児童に占める割合は 6 割強であった。一方、家庭復帰できない子どもたちのため、里親制度の推進にも力を入れており、秋田県から受託している里親トレーニング事業（計 10 日間の実習）は 6 組の里親を対象に実施し、トレーニング終了後の里親へ子どもを委託することもできた。

昨年 8 月には、厚生労働省が「新しい社会的養育ビジョン」を公表し、就学前の子どもは原則施設への新規措置入所が停止となることや、3 歳未満の子どもは概ね 5 年以内に、それ以外の就学前の子どもは概ね 7 年以内に 75% を里親へ委託するという数値目標が掲げられるなど、家庭的養育を強く推進していく姿勢が示されたと感じている。

当乳児院においても、引き続き家庭復帰を最優先としながら、同時に里親制度の推進にも尽力していく。子どもは社会の宝なのだから。



6月より 愛あいクラブ スタート♪♪

来月より愛あいクラブの活動が始まります。今年度は当院の専門職の知識を活かし、親子でご参加いただけるお勉強会を計画しました。お子様が保育士と遊んでいる間に子育てに役立つ知識を深めてみませんか？

年間計画（活動内容）は以下の通りです。



開催日	活動内容
6月12日（火）	0歳児の一時救命処置
7月10日（火）	0歳児の心とからだ
8月7日（火）	1・2・3歳児の心とからだ
9月8日（土）	運動会（予約不要）
10月9日（火）	秋祭り（予約不要）
11月13日（火）	1・2・3歳児の食事のおはなし
12月11日（火）	クリスマスクッキング（1歳～未就園児）

- ★予約は活動前月の15日10時から電話予約のみで受付いたします。
- ★キャンセル待ちは行いませんので、お早めのご予約をおすすめ致します。

参加費は無料！ご参加お待ちしております！



ひよこ組

新生ひよこ組は下は3カ月から上は10カ月の5名でスタートしました。みんなで元気に寝返りやハイハイを特訓中です!! 人見知りやしちゃうけど、遊んでもらう事が大好きな僕たち、私たち。これからの成長が楽しみ!
(鈴木(亜))



愛情 ぎゅぎゅっと!ひよこ組

ぱんだ組

新しいお部屋の中を「これは何?」とキラキラした目で探索している男の子4人。
去年まではお部屋で過ごすことがほとんどでしたが、今年は靴をはいてお外も探索に出掛けますよ。
(森川)



抱っこ大好き、ごはん大好き、
ねんね大好き ぱんだ組



ばんび組

年齢差があるばんび組。その差はなんと2歳半!ですが、年上のAちゃんが年下のTちゃんをお世話してくれたり、みんなで電車ごっこをしたり、踊ったり。おふざけもみんな一緒です。

さあ! 愉快的ばんび組のスタートです。(水澤)



キラキラ笑顔のばんびのWA

ことい組

2歳8カ月~3歳3カ月の同学年のことり組。「赤ちゃんミルクだよ。おいしい?」「OOちゃんお散歩いくから赤ちゃん抱っこしてえ」とごっこ遊びをリードするのは女子3人組。男子組は「僕たちは運動遊びまかせて」と元気よく走り回っています。のびのび遊んでおおきくな~れ!
(根田)



泣いて笑って怒って泣いてまた笑顔
どんな君も大好き!



心理担当職員 作左部 紀子

春はスタートの季節！

新しい生活を始めるときは、期待と共に様々な不安を感じるものです。

大人でさえもストレスになるようなこの思いを、言葉の発達が未熟な子どもたちはどのように感じ、どんなふうに表現するのでしょうか…夜中に起きだしたり、わがままを言ったり、急に泣き出したり…いつもと違う行動の原因が何なのかはわかりませんが、その度にまわりのおとなたちも振り回されます。こんな時、おとなに抱っこしてもらおうとすることが、子どもの揺れ動く心の不安定さを落ち着かせる一番の薬になるようです。子どもが満足して身体を委ねることができる状況を整えることが、大人の役割です。

乳児院の子どもたちは、この春それぞれが新しいスタートを切りました。クラスが変わった子も、新しいお家で生活を始めた子も…子どもたちが新しい環境でもたくさん抱っこしてもらって不安が癒され、ワクワクするような期待に満ちた生活を送ることができていますようにと祈っています。



もっとクロス！

日本赤十字社は、5月を毎年「**赤十字運動月間**」として赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけています。



詳しくは、特設サイトをご覧ください。
🏠 日本赤十字社「赤十字運動月間」

編集後記 ～スタッフから一言～

今年、自分が初めて担当した子どもが小学生になった。激しく人見知りをされ、しばらくまともにおムツ交換も食事介助もできず落ち込んでいたあの頃。保育士1年目で何もわからず毎日ドタバタ慌ただしく養育していたあの頃。それらが今ではいい思い出になっている。

今年の春も数名の子ども達が乳児院を巣立っていった。相変わらず毎日ドタバタ養育しているが、子ども達の成長や思い出を糧とし、これから自分自身もっと成長していかなければと感じた2018年春。

(高杉)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)